

## 教育長からのメッセージ

神津島村教育委員会  
教育長 清水一正

神津島は、東京から南へ 180 km、周囲 22 km、人口約 1700 人の島です。

伊豆諸島のほぼ中間に位置し、もとは「神集島」と書き、神話に彩られた島です。

交通は、調布飛行場から飛行機で約 40 分、竹芝桟橋から高速船で約 3 時間半です。

島の中央部にそびえる天上山は、標高 572m ながら、2000～3000m 級の景観、植生があり花の百名山・新日本百名山にも選ばれています。

産業は、漁業・観光が主です。漁業はキンメダイやマグロ類を中心に東京都第 1 位の水揚げを誇ります。

水質透明度日本 1 位にも選ばれた海、東京都初の星空保護区などは、観光のみでなく、教育活動にも生かされています。

神津島村では学力向上に取り組んでいます。「AI に代替されない仕事」ができる人間を育てたいと思っています。

学校間の連携の柱を、指導法の統一としています。神津島村授業基本モデルを定め小学校、中学校で共通に実践しています。9 年間の学びのルールが基本的になることで、子供たちは見通しをもって主体的に学んでいます。

また学校以外の学びの場として、「しま子屋」を開催しています。放課後は小学校 1,2 年生を対象に、土曜日は図書館にて小学校 3～6 年生を対象に、学力向上、思考力を育成する取り組みを行っています。

島の学校で勤務したいと考えている皆様、神津島村では授業改善に正面から取り組んでいます。また地域の大人は子供の学習に極めて協力的です。

AI が生活の中に当たり前に入ってくる社会で、子供たちが「AI に代替されない仕事」に就ける力の基礎を育成しています。

神津島で一緒に研究を深めましょう。そして教師としてのやりがいを実感してください。お待ちしております。

